

☆いま進行しているおかしな動き

「その一」 憲法審査会の危険な動き

- ◆消費増税法案、そして民主党の分裂騒動に国民の目が釘付けになっているのをチャンスに、四年間眠っていた国会の憲法審査会の審議が始まりました。
- ◆現在の憲法審査会の構成メンバーは改憲派が圧倒的多数です。そして、消費増税騒動の間にも、この審査会だけはマジメに審議を続けているのです。
- ◆今年六月には、議員数の過半数で憲法改正発議出来るようにすることを狙った「憲法九十六条改正議員連盟」が百人の国会議員によって結成されました。
- ◆これは、いきなり憲法全体の改正を諮^{はか}っても議員の三分の二以上の賛成を得ることが難しいので、まず外堀から埋めて行こうという作戦です。

「その二」 君が代斉唱にまつわる教員処分

- ◆最高裁は一月、教員に君が代斉唱を命令するのは憲法違反ではないが処分は戒告までにしなさいと言う判断を出しました。
- ◆東京都や大阪府はこれを盾に、憲法違反ではないというお墨付きをもらったとして、教員の戒告処分をばんばん行っています。（私達「浜松市憲法を守る会」は、そもそも君が代斉唱命令は憲法第十九条“思想・良心の自由”に反すると判断しています）

「その三」 大飯原発再稼働

- ◆政府は、この夏の電力不足を賄えないとして、関西電力大飯原発の再稼働を認めました。福島原発事故の原因調査も終わっていないのにです。
- ◆しかも、大飯原発には津波対策や放射性物質を取り除くフィルター設置もされていないのにOKを出したのです。
- ◆さらに政府は、この夏が過ぎても大飯原発の稼働継続をOKだと言っています。あれ？夏の電力不足対策と言っていますませんか？だったら、夏が過ぎたら止めるのが筋でしょう？・・・どうも、目的は他にあるようです。

「その他」 社会保障、公共投資、オスプレイ

- ◆そのほか、消費税増税と一体のはずだった社会保障制度は先送り、新幹線・高速道路工事（EPCコンクリート）の大幅復活、国民の安全よりオスプレイ配置優先など、消費税増税騒動に紛れて、おかしなそして危険な動きがいっぱいあります。私達「浜松市憲法を守る会」はこれからも見張りを続けて行きます。

二〇一二年七月八日(日) 第五四五回憲法を守る平和行進
浜松市憲法を守る会 事務局 浜松市中区紺屋町三〇一―一五
★月例護憲平和行進 毎月第一日曜日・午後一時・浜松市役所正面玄関集合